

## 支店長席



ほそだ たかし  
細田 武志氏

日本道路四国支店長

# 空振り三振はOK

ドラマ『北の国から』に感化され北海道で学業を習得し、入社後は空港工事のタイナミックさに憧れたという。念願が叶い、仙台空港の舗装工事に従事して以来、早

朝には飛行機が離着陸するスリリングな現場を7年近く経験するとともに「1日の出来高にやりがいを感じた」と振り返る。

全国10支店中7支店目で初めての四国。「新鮮な目で分析できる。良いところは伸ばし、悪いところは改善する」と意気込む。「社会環境は目まぐるしく変わり、一度決めたことに固執する時代ではない。臨機応変に対応する」

会社の合言葉である『現状維持は最大のリスク』を挙げ、「前例がないという表現は好まない。前例は進んでつくるもの」と言い切る。安全も同様で「効果のあるものは他社に先駆けて導入するなど

安全文化を進化させる」

「学校・スポーツ関連施設に力点を置いた新規開拓を進め、官庁工事を堅固な柱に育てる」との戦略を描く。「最終目標は、社員を始めステークホルダーが豊かな幸せを得ること」と明確で、そのためには「同じ目標に向かった強いチームをつくりたい」とも。

社員には「見逃し三振よりフルスイングで空振り三振する勇氣を持ってほしい」と期待し、「社員の背中を押せるよう挑戦できる環境をつくる」を自らの使命とする。

1995年3月北大工学部土木工学科卒業、同年4月日本道路入社。東京支店神奈川中央出張所長、中国支店広島営業所長などを経て、4月1日から現職。神奈川県出身、48歳。

